

**UNITIKA**

We Realize It!

---

**2007年3月期 中間決算説明会**

**2006年11月17日  
ユニチカ株式会社**

# I. 2007年3月期 中間決算

## 1. 当中間期の業績概況

	実績		増減	
	07/3 中間	06/3 中間	金額	%
(億円)				
売上高	1,041	1,051	▲10	▲1%
営業利益	54	67	▲14	▲21%
利益率	5.1%	6.4%		
経常利益	42	57	▲15	▲27%
特別利益	0	15	▲15	
特別損失	17	25	▲8	
中間純利益	20	20	▲0	▲1%

### ◇前年同期比 減収減益

- ・不動産関連の収益が減少
- ・天然繊維事業の市況悪化
- ・環境事業の受注、工事進捗遅れ

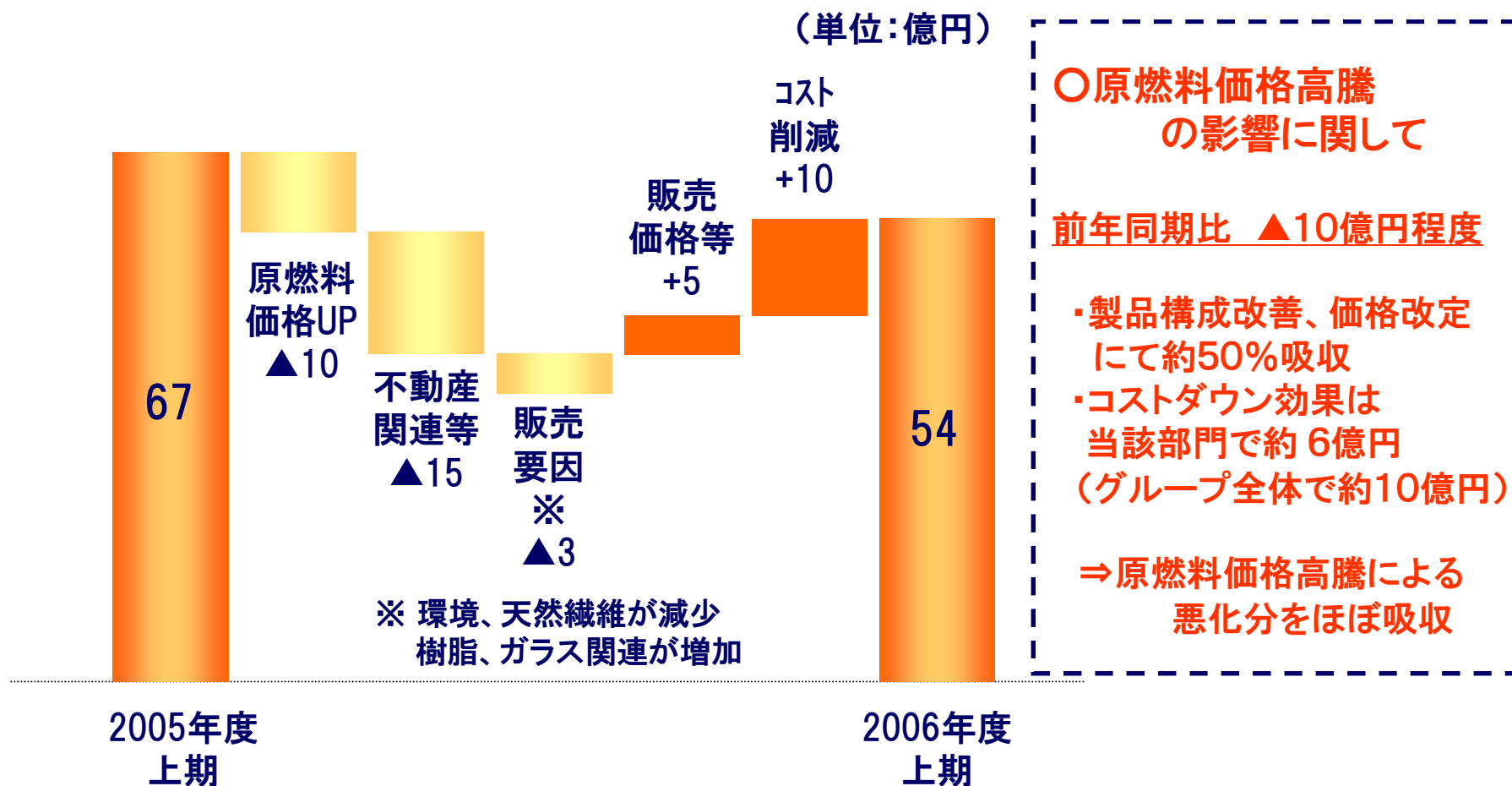
### ◇原燃料価格高騰の影響

- ・製品構成の改善、価格改定にて可能な限り吸収
- 残るはコストダウンで対応

### ◇高機能樹脂、ガラス素材は堅調

- ・電機、電子機器関連、IT関連分野向け等での拡販が進む

## 2. 収益変動の増減内訳



### 3. 財務及びキャッシュフローの状況

[B/S]

(億円)	07/3中間 (06.9月)	06/3 (06.3月)	対06/3 増減	06/3中間 (05.9月)
資産合計	3,265	3,318	▲ 53	3,297
負債合計	2,871	2,918	▲ 48	2,931
少数株主持分	—	47	—	46
資本合計	—	353	—	320
純資産合計	394	—		

<06年3月期との対比>

- ◇有利子負債  
1994億円 ⇒ 1985億円  
・約9億円の削減
- ◇自己資本(比率)  
353億円 ⇒ 348億円  
(10.6%) (10.7%)  
・当中間純利益で増加  
・有価証券評価差額金減少

[キャッシュフロー]

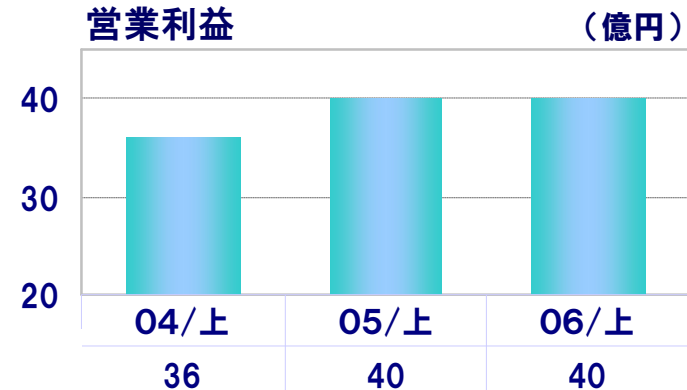
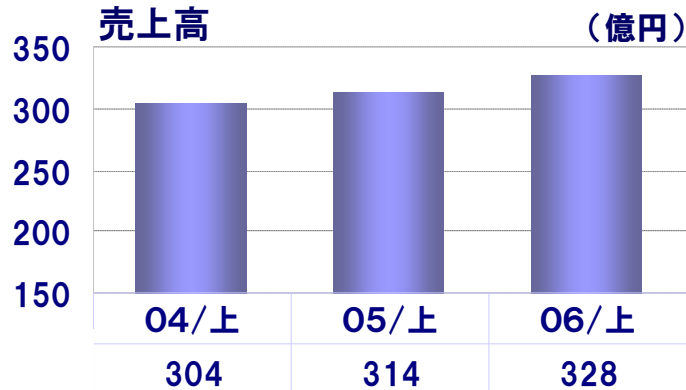
(億円)	営業 CF	投資 CF	財務 CF	現金及び 現金同等物
07/3 中間	73	▲ 39	▲ 20	157
06/3 中間	51	▲ 47	▲ 87	132

#### 4. セグメント別収益変動の状況

事業セグメント (億円)	売上高			営業利益		
	07/3 中間	06/3 中間	増減	07/3 中間	06/3 中間	増減
高分子	328	314	+14	40	40	+0
環境・機能材	115	110	+4	3	1	+2
繊維	502	496	+5	8	11	▲ 3
生活健康・その他	97	130	▲ 33	13	29	▲ 16
消去・全社 ※				▲ 10	▲ 14	+4
連結合計	1,041	1,051	▲ 10	54	67	▲ 14

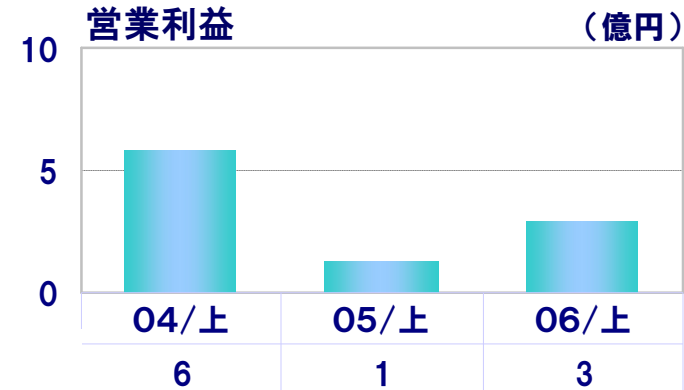
※「消去・全社」欄は、「消去」、「未来費用」、「退職給付費用の一部」を含んでいる。

## ① 高分子事業



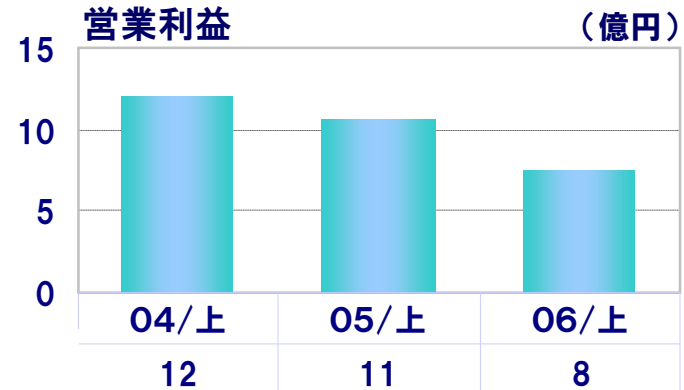
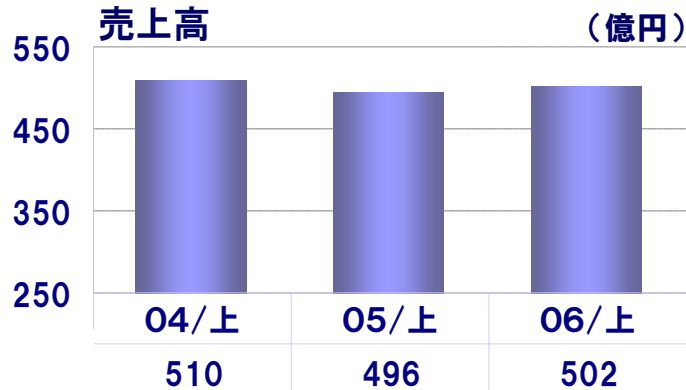
フィルム	増収 利益横ばい	ナイロンフィルムは中国工場新設等により売上増も、償却負担、海外競争激化等の影響により利益伸びず エステルフィルムは工業用途の需給逼迫を背景に販売量増
樹脂	増収 増益	ポリアリレート、ナノコンナイロンなど高機能樹脂が自動車、IT関連分野を中心に販売拡大、エステル樹脂の電子機器向けの販売が堅調、今期から封止成型事業が収益に貢献
不織布	増収 利益横ばい	スパンボンドは欧米向け輸出が徐々に回復、おむつ等の衛材関連用途の売上が増加するなど全体的に収益は改善傾向 綿スパンレースは化粧雑貨用途を中心に輸出が伸長

## ② 環境・機能材事業



環境	減収 減益	受注時期・工事進捗の遅れ、複数の大型案件の完工等により収益減少傾向続く（メンテ分野、民需、薬剤関連は堅調） 自治体の発注量も回復基調にあり、今期受注も前年比増加
機能材	増収 増益	産業資材向けガラスクロスがバグフィルターなど各種断熱用途等で伸長、ICクロスがパソコン、携帯電話向け等で収益増 ガラスビーズ、活性炭繊維が堅調に推移

### ③ 繊維事業



#### 合成繊維

微増収  
利益横ばい

構成改善、価格改定もあり売上は微増、ナイロン繊維は構造改善で増益、エステル繊維は婦人服の減少を資材用途でカバー、ビロンがセメント補強用等で堅調

#### 天然繊維

微増収  
減益

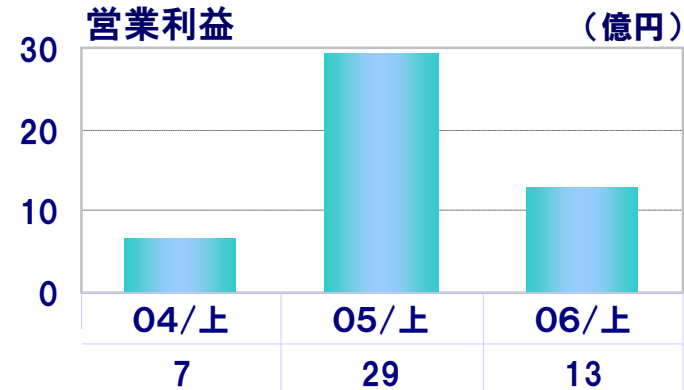
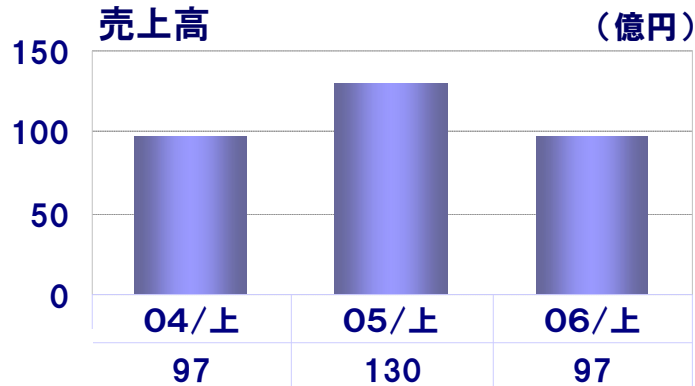
ユニフォーム分野で販売量は伸長するも、価格競争激化、製品事業の収益減少、天候不順、原燃料価格高騰の影響等により、利益が減少 海外の関連会社の収益が増加

参考

(億円)	売上高			営業利益		
	06/上	05/上	増減	06/上	05/上	増減
ユニチカファイバー	181	183	▲ 2	3	3	0
ユニチカテキスタイル	109	111	▲ 2	▲ 1	2	▲ 3



## ④ 生活健康・その他事業



生活健康

微減収  
微減益

メディカル事業は徐々に収益改善  
健康食品分野の収益は伸び悩むが、新製品を上市するなど  
消費者ニーズの多様化に応え得る販売展開を積極的に推進

その他

減収  
減益

販売用不動産に係るスポット的な収益が減少  
マンション事業の上期収益が減少(通期では前年並みに回復)

※その他事業

不動産関連(マンション販売、賃貸業、営業用不動産開発)、  
設備技術、情報システム 等

## Ⅱ. 2007年3月期 通期決算予想

### 1. 当期の業績予想

(億円)	金額		増減	
	07/3 予想	06/3 実績	金額	%
売上高	2,250	2,160	+90	+4%
営業利益	135	142	▲7	▲5%
利益率	6.0%	6.6%		
経常利益	105	117	▲12	▲10%
当期純利益	50	45	+5	+11%

#### ◇前年比 増収

- ・高機能樹脂、ナイロンフィルム等の売上増加
- ・機能材事業がガラス関連分野での拡販、新たな事業領域での販売を含め売上増加

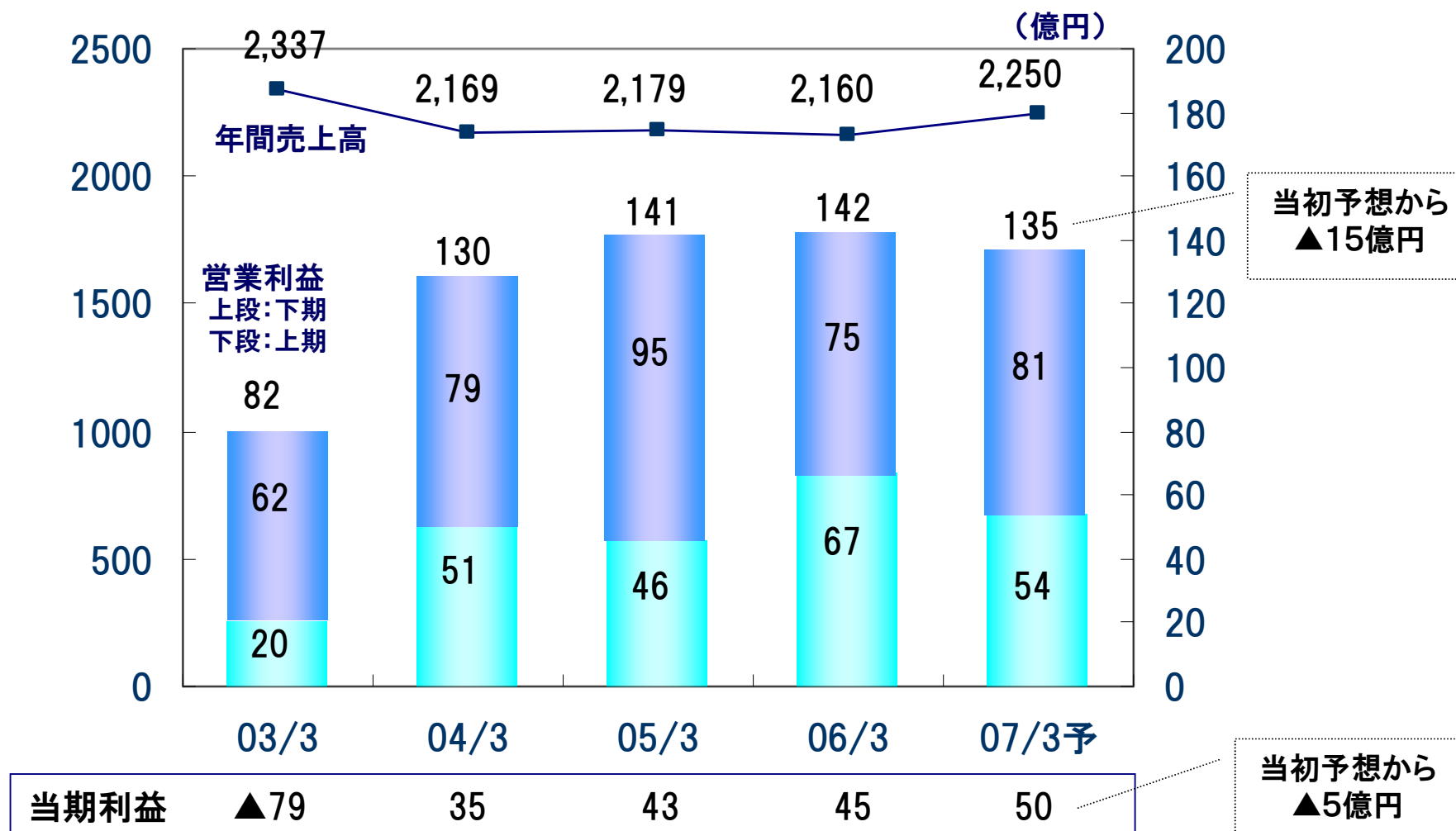
#### ◇原燃料高影響の懸念が続く

- ・通期の影響は約25億円の見込

#### ◇上期不動産関連の収益減影響、環境事業、天然繊維の回復がやや弱含み

⇒ 通期の利益予想について当初予想から修正  
 営業利益・経常利益は前年比減益  
 当期純利益は前年比増益

## 2. 業績の推移(2003年3月期～2007年3月期予想)



### 3. 通期のセグメント別業績予想

事業セグメント (億円)	売上高			営業利益		
	07/3 予想	06/3 実績	増減	07/3 予想	06/3 実績	増減
高分子	684	625	+59	88	83	+5
環境・機能材	302	270	+32	24	24	+0
繊維	1,034	1,030	+4	26	27	▲ 1
生活健康・その他	230	234	▲ 4	26	39	▲ 13
消去・全社 ※				▲ 29	▲ 31	+2
連結合計	2,250	2,160	+90	135	142	▲ 7

※「消去・全社」欄は、「消去」、「未来費用」、「退職給付費用の一部」を含んでいる。

## ＜各事業の業況見通し＞

(単位:億円)

事業	利益増減	特記事項
高分子	+5.1	海外ナイロンフィルムの増販もあるが利益貢献には至らず ポリアリレートなど高機能樹脂の拡販、封止成型事業が収益に貢献 更なる原燃料価格高騰に対し価格改定へ向けた取り組みを強化
環境	+0.2	足下、受注は改善するも、本格的な収益改善に向けてはやや弱含み 確実な物件受注とコストダウンで、下期以降の収益改善を推進
機能材		極薄ICクロス等の高付加価値品、産業資材向けガラスクロスが伸長 活性炭繊維がメッキ液浄化フィルター向け等に拡販
合成繊維	▲1.1	原燃料価格高騰、婦人衣料関連の低迷の影響を、価格改定、差別化品 拡販など構成改善、資材用途の販売増で吸収し横ばい
天然繊維		ユニフォーム分野での価格改定等によりマージン改善、市況的にやや 弱含みであり減益
生活健康 その他	▲13.5	マンション事業は通期で回復し前年並み、生活健康の伸び悩みが続く 上期の販売用不動産の収益減少分が通期で影響

## 4. 設備投資等の状況

(億円)	07/3 予想	07/3 中間実績	06/3 実績	増減
減価償却費	66	31	67	▲1
設備投資	63	27	65	▲2

### ◇設備投資セグメント別内訳

	07/3予想	07/3中間
・高分子	34	14
・環境、機能材	12	4
・繊維	12	7
・生活健康その他	5	1

## 参考 中期計画「NP-8」の事業戦略について

事業戦略 / セグメント	高分子	環境機能材	繊維	生活健康 その他
①トップシェア・ シェア優位事業拡大	ナイロンフィルム ポリアリレート樹脂 不織布	ガラスビーズ		
②環境配慮・生活健康志向 型事業強化	テラマック リサイクル事業	環境プラント 土壌調査 活性炭繊維	テラマック	健康補助食品 (ハナピラタケ、 セラミド等)
③連結事業領域の拡大	各セグメント共通戦略			
④グローバルマーケティング の推進	ナイロンフィルム拡大 強みのある商材の中国市場展開		中国とのオペレーション強化等	
⑤市場先行型差別化戦略 の推進	PETフィルム ナノコンナイロン 共重合PET	ガラス繊維 ICクロス	差別化合繊 スーパービニロン TX製品企画	
《ガバナンス戦略》	トータルコストダウンの継続			

## ご注意

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。